



2025年9月26日

各 位

会 社 名 S E M I T E C 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 石 塚 大 助
(コード番号：6626)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 小 島 一 浩
(TEL. 03-3621-1155)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

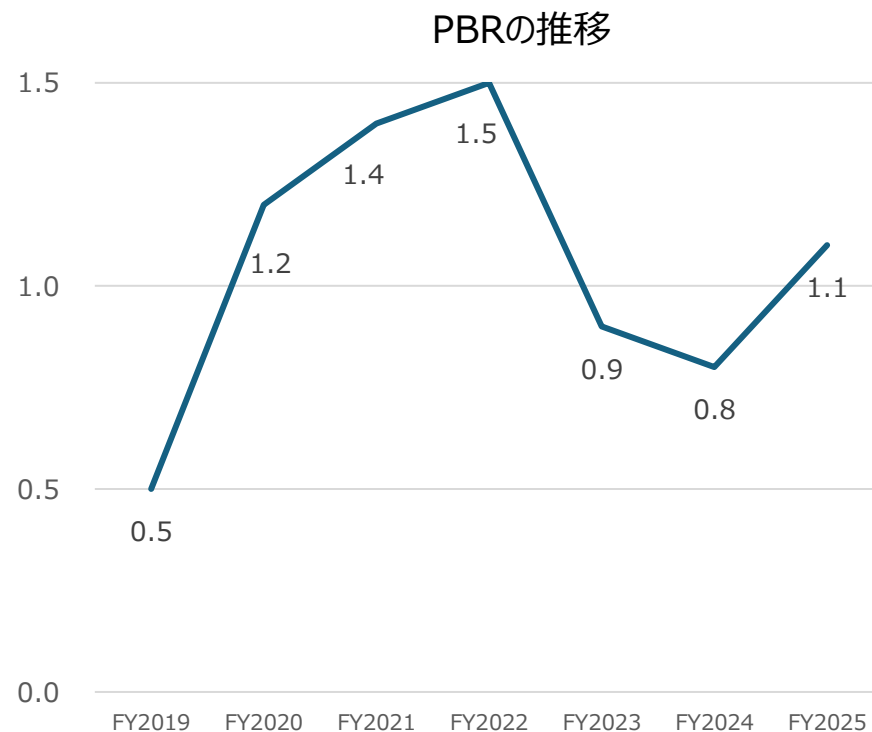
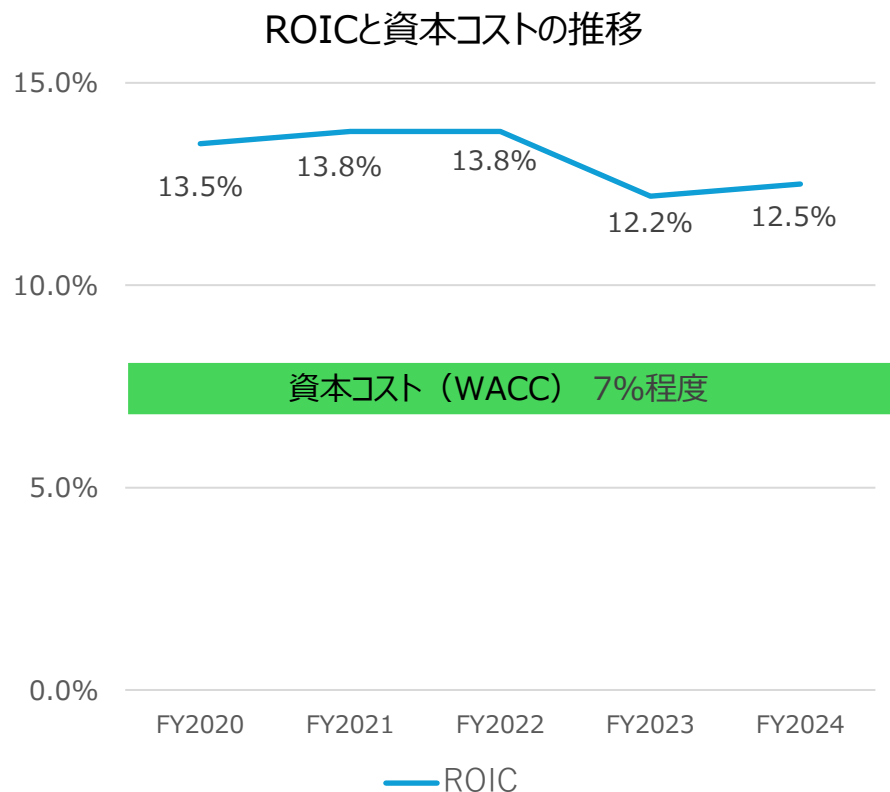
当社は、2025年9月26日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、当社の現状分析と課題認識を行い、今後の方向性について決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご参照ください。

以上

資本コストや株価を意識した経営の実現に 向けた対応について

- ・ 当社は本業で稼ぐ**営業利益を重視**した経営を推進していることから**ROIC**（投下資本利益率）を採用。
- ・ 現状ROICは、比較指標であるWACC(2025年3月期 7%程度)を上回って推移している。
- ・ PBRはFY2023から1倍を割れていたが、1倍を超える水準に回復。（2025年9月26日現在）



項目	取り組み内容
資本収益性向上	資本コストを意識したROIC経営の推進
IR活動	事業・成長戦略等の説明強化 投資家との対話強化及び英文開示の促進
株主還元	FY2026目標のDOE2.5%の実現 (FY2027以降は、次期中期経営計画策定時)

目標指標：ROIC 9%以上

※資本効率の改善と持続的な成長に向けて、重要指標を営業利益に加えROICを設定
※上記指標を下限水準とし、更なる向上を目指す
※対象期間：中期経営計画「Vision2026」（2027年3月期まで）

投下資本利益率

ROIC

=

売上高利益率

税引後営業利益

売上高

×

投下資本回転率

売上高

投下資本（運転資金＋固定資産など）

ROIC	売上高利益率	売上高	現地化の推進 既存市場の拡販、新市場の参入 こと売りビジネスの推進 独特なセンサの創出
		営業費用 (売上原価＋販管費)	自動化、設備導入による生産効率化 DXの推進、AIの活用 材料費削減活動の推進 供給維持にかかるコスト見直し
	投下資本回転率	運転資本回転率 (売上高÷運転資本)	余剰在庫の削減 安全在庫の見直し 回収遅延への早期対応 与信管理の強化
		固定資産回転率 (売上高÷固定資産)	生産体制の再編 高生産性設備への更新 歩留りの改善（不良率削減） 協力会社の有効活用